



国立大学法人豊橋技術科学大学
豊橋市

Press Release

平成 26 年 8 月 8 日

「子ども霞が関見学デー」で豊橋技術科学大学の最先端科学を子どもが体験！
～豊橋技術科学大学のロボット技術を組み込んだ豊橋市マスコット「トヨッキーロボ」も大活躍～

8月6日から7日にかけて、多くの家族連れが霞ヶ関の官庁に集まりました。「子ども霞が関見学デー」は、子どもたちが親の職場を見学すること等を通して、親子のふれあいを深め、広く社会を知る機会とするために、文部科学省が中心になって始まった取組です。

今年は、25 府省庁等が職場見学や業務説明等を実施しました。

豊橋技術科学大学では文部科学省のプログラムの一つとして、エレクトロニクス先端融合研究所(EIIRIS:アイリス)が『TOYOCKYーと一緒に先端科学を学び、体験してみよう!』と題して、様々な体験実習を催しました。



エレクトロニクス先端融合研究所 石田誠所長(左から2番目)

同大学が豊橋市の依頼を受け、今年開発した、豊橋市のご当地キャラ「トヨッキーロボ」も、地元の三河弁で来場した子ども達に豊橋市の観光案内、記念撮影を行い、大好評でした。



赤外線センサで子どもを認識し、三河弁で話しかける「トヨッキーロボ」。
豊橋市の職員の説明に来場した子どもたちも興味深く耳を傾けていました。



文部科学省マナビィと記念撮影



文部科学省の会場にて「トヨッキー」も大活躍しました。



トヨッキーロボ

体験ブースでは実体顕微鏡で豊橋プローブ観察、ナノの世界を体験してみよう! 不思議な鏡の工作、脳波で遊ぼう、目と光の不思議体験、など先端科学を多くの来場者に体験していただきました。



豊橋プローブ観察



ナノの世界を体験してみよう! 不思議な鏡の工作



脳波で遊ぼう



目と光の不思議体験

豊橋技術科学大学は、文部科学省「情報ひろば」企画展示室にて『スマートセンサチップを中心としたセンシング技術と応用研究の紹介』と題して、11月末日(予定)まで企画展示を行っています。

文部科学省ミュージアム「情報ひろば」企画展示

展示テーマ『スマートセンサチップを中心としたセンシング技術と応用研究の紹介』

期間:平成26年8月1日(金)～11月末日(予定)

※開館は月曜日～金曜日の午前10時～午後6時。入館は閉館の30分前まで
土曜日、日曜日、祝日、年末・年始休館

場所:文部科学省「情報ひろば」企画展示室(東京都千代田区霞ヶ関3-2-2 旧文部省庁舎3階)

入場料:無料

主な展示物:大学紹介・研究所及び研究紹介ビデオ、豊橋プローブ観察(実体顕微鏡)、各種センサチップ、研究紹介用パネル

【文部科学省 情報ひろば | 特別展示】

<http://www.mext.go.jp/joho-hiroba/sp/index.htm>



【本企画に関するお問合せ先】

○報道・企画に関するお問合せ

豊橋技術科学大学 総務課広報係 高柳・小島

TEL:0532-44-6506 E-mail:kouho@office.tut.ac.jp

○展示・研究に関するお問合せ

豊橋技術科学大学 研究推進アドミニストレーションセンター 特定准教授土谷

TEL:0532-81-5127 E-mail:tsuchiya@eiiris.tut.ac.jp

○トヨッキーロボに関するお問合せ

豊橋市役所産業部 観光振興課 坂口

TEL:0532-51-2430 E-mail:sakaguchi-kinya@city.toyohashi.lg.jp